

第一コンサルタンツは こんな会社です



平成 30 年 5 月 創立 55 周年記念ヨーロッパ旅行[第 1 班 イタリア(ミケランジェロ広場)]

令和 4 年 8 月



総合建設コンサルタント

株式
会社

第一コンサルタンツ

DAIICHI-CONSULTANTS CO., LTD.



HP アクセス用
QR コード

詳しくはコチラ▶<http://www.daiichi-consul.com/>

第一コンサルタンツ

検索

第1章 第一コンサルタンツの概要

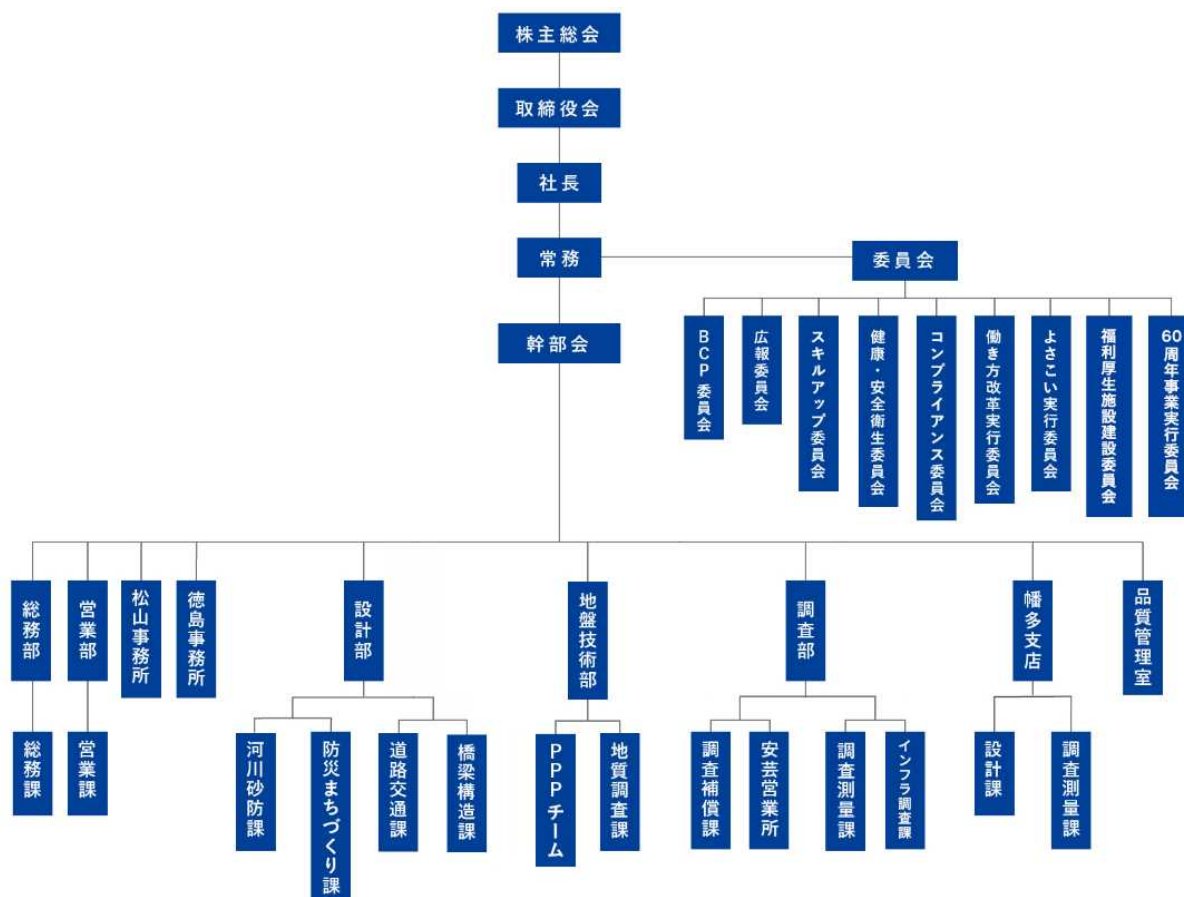
1. 概 要

- ① 1963 年「第一測量有限会社」として創業
- ② 1986 年「株式会社 第一コンサルタンツ」に商号変更
- ③ 資本金 4,500 万円
- ④ 売上高 24.2 億円(2022 年 3 月末)
- ⑤ 社員数 142 名(2022 年 4 月) (女性は 31 名)

2. 経営理念／方針

- ① 社訓 《 情熱・謙虚・誠実 》
- ② ミッション 《 日本を守る 》
 - ✓ 日本のインフラを守る。
 - ✓ 日本を自然災害から守る。
 - ✓ 地域の雇用とコミュニティを守る。
- ③ ビジョン「三方良し」 《 社員よし、顧客よし、地域よし 》
 - ✓ 社員が幸せを実感できる会社。
 - ✓ お客さんから信頼される会社。
 - ✓ 地域の人たちから愛される会社。
- ④ 経営方針 《 社員は家族 》
 - ✓ 高い技術を身に付け、立派な人間に成長できる職場
 - ✓ 健康を最優先した経営
 - ✓ ガラス張りのクリーンな経営
 - ✓ 利益の 1/3 は社員に賞与として還元
 - ✓ 年齢、性別、経歴を問わず能力主義の人事評価を行う(ダイバーシティ経営)。
- ⑤ 職場の三原則 《 時を守り、場を清め、礼を正す 》
 - ✓ 遅刻をしない、約束の時間や期日を守る。
 - ✓ 整理整頓、掃除をする。
 - ✓ あいさつをする。返事をする。
- ⑥ 品質方針 《 顧客から信頼される会社 》
 - ✓ お客さんの要求には「すぐやる、必ずやる、できるまでやる」。
 - ✓ 納期を厳守し、ミスのない、わかり易い成果品を納品する。
 - ✓ 積算・工事・維持管理の各段階に配慮した設計をする。
 - ✓ 受注業務は、工事が完成するまで責任を持って誠心誠意対応する。
 - ✓ P D C A サイクルを回して改善に努める。
- ⑦ 企業イメージ
第一コンサルタンツには「仕事がある、笑顔がある、未来がある」

3. 会社組織



4. 業務内容

建設コンサルタント、補償コンサルタント、測量・調査、地質調査、地籍調査、GIS システム関連、維持・管理（インフラ長寿命化）、建築・監理、技術開発

5. 給 与

① 基本給(初任給)

専門2年卒 19.0 万円、高専卒 20.0 万円、大卒 21.0 万円、大学院卒 22.0 万円

② 通勤手当

0 円(通勤距離 2km 未満)～1.5 万円(通勤距離 20km)

公共交通機関を利用の場合は実費(上限 3.5 万円)

③ 住宅手当

所 帯 主：配偶者・有扶養 3 万円、非扶養 2 万円

非所帯主：1 万円(独身親元)

④ 扶養手当

配偶者 1 万円、子(人数制限なし)15 歳未満 1.0 万円、15 歳以上 22 歳未満 1.5 万円、その他 0.3 万円(2 人まで)

⑤ 役職手当

主任 2 万円、技師 2 万円～3 万円、係長 3 万円、課長補佐 4 万円、副技師長 6 万円～8 万円、課長 8～8.5 万円、技師長 8.5～10 万円、次長 9～10 万円、部長 10.5～12 万円

⑥ 資格手当

	資格手当（万円）		受験資格実務経験年数									
	一時金	月額手当	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
技術士補	5.0	0.0										
技術士	20.0	2.0										
RCCM（高卒）11 年以上必要	5.0	0.5										
RCCM（高専卒）	5.0	0.5										
RCCM（大学卒）	5.0	0.5										
RCCM（院修了）	5.0	0.5										
地質調査技士	3.0	0.5										
一級建築士	10.0	1.5										
一級土木施工管理技士	3.0	0.5										
測量士	5.0	0.5										

上記の他にも土木学会認定技術者、補償業務管理士、測量士補、環境計量士、下水道技術検定、中小企業診断士、社会保険労務士などの資格手当あり

⑦ 超過勤務手当(残業手当)

基本給+資格手当+営業手当
20 日×8 時間 × 1.25 × 勤務時間数

⑧ 出張手当

⑨ 賞与

夏(6 月)2.5 ヶ月(新入社員は 0.85 カ月)+冬(12 月)2.5 ヶ月+春(3 月)業績による
R3 年度 7.0 ヶ月、R2 年度 7.0 ヶ月、R1 年度 7.5 ヶ月、H30 年度 7.0 ヶ月の実績

⑩ 資格合格祝金

技術士 20 万円、技術士補 5 万円、RCCM 5 万円、測量士 5 万円、一級建築士 10 万円、
社会保険労務士 10 万円、中小企業診断士 20 万円、他

⑪ その他

永年勤続祝金、入学祝金、各種受賞祝金、社長賞、優秀社員表彰

6. 勤務時間と休日

① 勤務時間

8：30～17：30(休憩 12:00～13:00)

② 休日

完全週休 2 日制(土曜日・日曜日)、祝日、年末年始 12 月 29 日～1 月 3 日

③ 年次有給休暇

10 日(0.5 年以上勤務)～20 日(6.5 年以上勤務)

④ 特別休暇

夏期休暇(3 日)、結婚(7 日)、忌引(5 日、祖父母と兄弟は 3 日)、妻の出産(1 日)、その他

⑤ 産前・産後休暇、看護・介護休暇、その他

7. 福利厚生

① 退職金制度(確定給付企業年金)

② 厚生年金、団体 3 大疾病保障保険、総合生活保険(日本商工会議所の長期休業補償制度)

③ 定期検診制度

- ・ 35 歳以上は生活習慣予防検診(35 歳以上)、40 歳以上は人間ドック(総合検診)
- ・ 扶養配偶者に対しても適用(全額会社負担)

④ スポーツジム「ZEYO」法人会員(社員は無料でいつでも使用可能)

⑤ 社員持株制度

⑥ 大学院奨学金制度

⑦ 海外研修制度

⑧ 社員旅行

台湾(H25)、東京(H26)、北海道(H27)、グアム(H28)、富山(H29)、ヨーロッパ
[イタリア、フランス、ドイツから一カ国](H30)、[沖縄、シンガポールのいずれか選択](R1)

8. 人材育成方針「企業は人なり」

① スキルアップ委員会で計画

② 外部講師によるセミナー(第一セミナーなど)、社内勉強会

③ 社内研究発表会の開催(年 1 回、発表者は選抜)

④ 学会や協会主催の研究発表会、講習会参加

⑤ 海外研修、国際シンポジウム

ネパール(H26)、成都(H27)、ネパール(H27)、台湾(H28)、ネパール(H29)

⑥ 大学院社会人コースへの進学支援

高知工科大修士(4 名)、岐阜大 ME 養成講座、愛媛大 ME 養成講座

⑦ CPD(継続教育)単位の取得

9. 求める人材

① 情熱と意欲があり、少々のことではへこたれない人。

② 常に視線を高いところに置き、自分の未熟さを認識し努力を惜しまない人。

③ 目先の損得を考えず、真心をもって行動できる人。嘘をつかず約束を守れる人。

④ 心身ともに健康で、性格が明るく、友達が多い人。

⑤ 物事に対して好奇心を持って前向きに取り組むことができる人。

第2章 学生からの質問に対する回答

1. 会社による回答

質問 1.1 会社の業務

第一コンサルタンツではどのような業務を行っていますか。

当社は、道路、河川、橋梁トンネル、砂防、公園など社会インフラの調査・計画・設計に関する建設コンサルタント、測量業、地質調査業、補償コンサルタントを行っています。

従来は新設するための調査・計画・設計業務が主体でした。近年では、橋梁・トンネル・砂防施設などの点検調査や健全度診断、耐震補強設計、長寿命化対策、津波避難マニュアル作成、避難所運営マニュアル、自然災害予測などの業務が増えています。

地方コンサルタントでは極めて珍しいと思いますが、落石防護ネットや落石防護擁壁、車両用防護柵などの各種土木構造物の耐衝撃実験、技術開発などの研究を実施しています。

業務の 95%を国土交通省などの官公庁と地方自治体から受注しています。国土交通省国土技術政策総合研究所からも毎年受注しています。

第一コンサルタンツのような業種を、国土交通省では「建設関連業」と呼んでいます。経済産業省の分類では、「専門・技術サービス業」となります。

質問 1.2 給与

貴社の給与について教えてください。

(1)初任給

初任給とは、学校を卒業して社員として採用された人が最初に受け取る給与として定義されています。

当社の場合であれば、4月1日に入社した社員が、4月25日に受け取る給与となります。新入社員には下記の初任給を支給しています。

初任給=基本給+通勤手当+住宅手当+扶養手当+資格手当+出張手当+超過勤務手当

初任給は通勤距離、扶養家族の有無、取得資格の有無、出張の回数、残業時間数によって異なります。

2022年には8人の新入社員がいました。初任給は下記の通りでした。

高専卒(1人) 22.5万円 大学(7人) 22.3万円 ~ 23.3万円

(2)募集用の初任給

新卒採用の新聞広告等には、初任給=基本給+住宅手当(独身2万円)の値を記載しています。

大学院博士課程修了	25.0万円
大学院修士課程修了	24.0万円
大学卒・高専専攻課程卒	23.0万円
高専卒	22.0万円
専門学校2年卒	21.0万円
専門学校1年卒	20.5万円
高校卒	20.0万円

なお、給与から社会保険料、所得税、住民税などが引かれますので手取り額は支給額の約82%になります。

(3) 年収

年収とは、会社が社員に対して 1 年間に支給する金額で、下記のように計算します。
年収=(基本給+役職手当+通勤手当+住宅手当+扶養手当+資格手当)×12 ヶ月+出張手当
+超過勤務手当+賞与(夏、冬、春)

当社の社員の年収(2021 年度)は、下記の通りです。

25 歳：490 万円～550 万円	30 歳：530 万円～640 万円
35 歳：490 万円～780 万円	40 歳：510 万円～820 万円
45 歳：560 万円～840 万円	50 歳：660 万円～870 万円
55 歳：800 万円～1,380 万円	60 歳：800 万円～1,430 万円

年収は、同じ年齢でも役職や取得資格、扶養家族などによって差が生じます。

質問 1.3 会社の雰囲気

貴社はどのような雰囲気の会社ですか。

当社は「社員は家族」をモットーにしています。しんどい仕事も、楽しい遊びも、利益も皆で分かち合っています。

役職に関係なく社員同士がとてもフランクに話し合える雰囲気があります。

社内結婚が多い、離職者が少ない、クラブ活動が活発というのが当社の特徴です。

質問 1.4 会社の強み

貴社が他社よりも力を入れていることについて教えてください。また、他社に負けない強みを教えてください。

当社は「社員の成長が会社の成長」「社員は会社の財産」と考えており、人材育成、福利厚生および健康経営に対してはどこにも負けないと自負しています。

当社の強みとしては、下記のことが挙げられます。

- ① 社員同士の仲が良く、郷土愛や愛社精神が非常に強い。社員が一丸となって課題解決に取り組む社風があります。
- ② 地域のイベントに会社が協賛し、社員が積極的に参加しており、地域の人々との繋がりが非常に強く、地域住民や関係機関の信用が厚いです。
- ③ 測量、設計、地質調査、補償、技術開発など幅広い専門分野を持っています。
- ④ 1963 年(創業)からの長い歴史と実績があり、国土交通省や地方自治体から高い信用と信頼を得ています。
- ⑤ 高知県内ではダントツの売上高と技術力を誇っています。
- ⑥ 社屋は地域の防災拠点としての機能を備え、BCP(事業継続計画)を実施しています。南海トラフ巨大地震などの大災害発生時でも出動できる体制を整えています。

質問 1.5 入社後の仕事

新入社員は入社後、あるいは研修後にどのような仕事をしますか。

設計部

新入社員は各課に配属され、課長の指示により業務を始めます。具体的な仕事の指導は、主任あるいは係長による OJT が主体となります。

最初の仕事としては、CAD 操作を覚えながら標準断面図の作成や数量計算を行います。また、現地調査の補助員として現場作業も行います。

調査部

配属先の上司の指導の下で、基準点、路線測量等の基礎知識、測量機器およびCADの操作方法を習得してもらいます。

質問 1.6 キャリアパス

入社してからのキャリアパスはありますか。あれば教えて下さい。

役 職	取得資格		目安 年齢	仕事のイメージ
	設計系	測量系		
一般職	技術士補	測量士補	18 歳～	上司の指示により業務を遂行 基礎技術の習得 会社・社会のマナー、チームワーク、システムの理解
主任	1 級土木施工管理技士	2 級土木施工管理技士	25 歳～	業務の一部を任して実施できる(管理能力、説明力) 業務遂行の流れを理解し、積極的に行動できる 基礎～専門分野の技術の習得
係長	土木学会 2 級土木技術者	測量士 1 級土木施工管理技士	30 歳～	管理・主任技術者として業務を遂行 専門とする分野の業務を一括して遂行 専門分野を中心とした幅広い技術を習得
課長補佐	技術士	測量士 RCCM 1 級土木施工管理技士	30 歳～	管理・主任技術者として業務を遂行 部下の指導管理としてリーダーシップを発揮
課長	RCCM		35 歳～	管理・主任技術者として顧客の信頼を得て業務を遂行 課内のマネジメントと組織成果の達成
次長	土木学会 1 級土木技術者		40 歳～	管理・主任技術者として顧客の信頼を得て業務を遂行 部内のマネジメントと組織成果の達成の一翼を担う
部長	土木学会上級土木技術者		45 歳～	部内のマネジメント(事業、組織、人材)と組織成果の達成 全社的な視点による会社運営の一翼を担う

1.7 勤務先

貴社に入社した場合の勤務先はどこになりますか。

現在、仕事のほとんどは四国内の官公庁と地方自治体から受注しています。創業の地が高知市で本社を高知市にしている関係で高知県内からの受注比率が多くなっています。最近では、つくば市にある国土技術政策総合研究所からも受注するようになっていきます。

本社は高知市に置き、高知県四万十市に幡多支店、高知県安芸市に安芸事務所、愛媛県松山市に松山事務所、徳島県徳島市に徳島事務所を置いています。

令和 4 年度には、都心部に東京事務所を設置します。時期は未定ですが、中部、近畿、中国、九州にも事務所を出す予定です。

現在、入社 3 年間は基本的に本社勤務ですが、最近はオンラインによるリモートワークが可能になっているので社員の希望で勤務地を選べるようにする予定です。

海外事務所については現在のところ計画していません。

1.8 仕事の選択

自分の携わりたい仕事の分野・現場を持っている場合、希望する分野・現場のプロジェクトに携わることができるのでしょうか。それとも意思や希望とは関係なく、様々な分野の仕事をまんべんなく割り与えられるのでしょうか。仕組みを教えてください。

当社は、第 1 章 3. 会社組織 に見られるような組織体系になっています。初年度にどの部署に配属するかは、学校で習得している専門科目や得意科目、本人の希望を聞いて決定します。

次年度からは、社員一人ひとりの能力や適性を考慮して人事異動を行っています。その際には、社員の希望をできるだけ反映させるようにしています。

1.9 残業時間

コンサルタントは残業が多いと聞いていますが、貴社ではどの程度残業していますか。

社員の平均残業時間は、年間 440 時間です。残業をほとんどしない社員がいる一方で、36 協定の上限近くまで残業している社員もいます。

当社では社員と 36 協定を結び、残業時間の上限を月 45 時間(最大 75 時間)、年間 720 時間と決めています。

「残業は基本的にはゼロ。遅くても 20 時には帰宅するように」と社長から命令されていますが、当社のみの努力でこれを達成するのは困難な状況にあります。

残業が多いのはコンサルタント業界全体の問題です。業務発注の平準化や次年度にまたがった発注などの対策を建設コンサルタンツ協会から国土交通省に要望しているところです。

1.10 代表的な設計

貴社がこれまでに設計している道路や橋梁、トンネルなどの代表的なものを教えてください。

<橋梁>

- ・土佐本山橋（本山町）：橋長 162m ニールセン・ローゼ橋
- ・里川橋（十和村）：橋長 165m 単径間 PC 連続有ヒンジラーメン橋
- ・藤橋（十和村）：橋長 150m 3 径間連続鋼箱桁橋
- ・車瀬高架橋（北川村）：橋長 238m 8 径間連続 PC 床版橋
- ・芝崎高架橋（北川村）：橋長 150m 3 径間連続 PC 床版橋

<道路>

- ・高規格高知南国道路（なんこく南 IC 付近）
- ・高規格中村宿毛道路
- ・国道 195 号あけぼの BP（高知市一宮～高知東道路間）
- ・県道はりまや町一宮線（高知市はりまや町～比島町）

<トンネル>

- ・天崎鍾乳洞トンネル（土佐市）長さ 109m
- ・久保川トンネル（四万十市）長さ 120m

質問 1.11 新人研修、海外研修

新人研修の内容を教えてください。また、海外研修があれば教えてください。

社会人マナー研修、従業員就業規則研修、業務内容に関する研修、コンプライアンス研修、配属部署での実務研修を行っています。

その他にも、価値があると思われる社外研修には積極的に新入社員を参加させています。

当社では海外研修制度も設けています。平成 24 年度にはインドネシアへ 1 名、平成 25 年度にはネパールへ 2 名、平成 27 年度には中国へ 4 名、ネパールへ 1 名、平成 28 年度には台湾へ 2 名、平成 29 年度ネパールへ 1 名の社員が行っています。

質問 1.12 女性技術者の活躍

御社における女性技術者の割合や活躍ぶりを教えてください。

当社の社員数は 142 名(2022.4.1)です。このうち、女性は全体の 20%にあたる 31 名で、大きな戦力となっています。また、全ての部署で女子社員が勤務しています。

2015 年の第 14 回高知県建設技術研究発表では、社員の片山佐恵が最優秀賞に輝きました。女性の視点に立ったきめ細やかな津波防災マップが高く評価されました。

2021 年に高知大人文社会科学部を卒業して入社した米津莉香は、入社した年に測量士補に合格すると共に 1 年間で UAV(ドローン)を用いた三次元測量をマスターしています。そして 2 年目には彼女の夢であったスポーツカー「トヨタ GR86」を購入しています。

2016 年 4 月に「女性活躍推進法」が施行されました。国土交通省では「女性の活躍推進に向け公共調達及び補助金の活用に関する取組指針」に基づき、国等の調達においてワーク・ライフ・バランス等推進企業を加点評価する取組を実施しています。2022 年 4 月から改正女性活躍推進法が全面施行されました。女性が建設コンサルタント業界で活躍する機会は今後益々広がることと思われます。

質問 1.13 女性の働く環境

貴社は女性社員が働きやすい環境でしょうか。女性が不便を感じるようなことはないのでしょうか。

当社は待遇面で男女の区別はありません。能力次第で管理職の道も開かれています。意欲的に働きたい女性であればとても働きがいのある職場です。

部署ごとで仕事に違いはありますが、女性同士共通する仕事も多いので自然と協力や相談ができる職場です。女性同士の仲の良さも魅力の一つです。

女性社員の希望により、本社には化粧室に大きな鏡や明るい照明が付いた洗面台を設けています。トイレはウォシュレットで、更衣室には絨毯を敷いてくつろげるように設計されています。

産休・育休もとれており、実績が多数あります。これに関しては、当社のホームページ、採用情報ページの「インタビュー（若手の思い）」をご覧ください。

勤務において女性が不便を感じる事があれば、その都度改善をしています。以前、女性の制服はスカートでした。スカートでは現場へ行けないという意見が出ました。現在は女性も男性と同様にパンツスタイルの作業着に変更しています。

質問 1.14 産休・育休

貴社の産休・育休制度についてお教え下さい。子育てをしている社員に対して貴社の支援内容と実績を教えてください。

【産前・産後の休業等】

産前休業は 6 週間（多胎妊娠は 14 週間）、産後休業は 8 週間の限度で請求可能です。また、妊娠 23 週まで 4 週に 1 回、24 週から 35 週までは 2 週に 1 回、36 週から出産までは 1 週に 1 回の通院休暇の請求が可能です。ただし、医師または助産婦がこれに異なる指示をしたときには、その指示により必要な時間の請求が可能です。

【育児休業】

原則として、子供が 1 歳（条件によっては 1 歳 6 ヶ月）に達するまで育児休業を請求できます。

当社では扶養手当を以前から支給していますが、子育て支援をより厚くするため平成 28 年度から手当を増額するとともに人数制限を廃止しています。詳細は第 1 章 5. 給与 をご覧下さい。

育児休暇をしている女性社員は常に数名います。出産した女性社員は 100%取得しています。男性社員の中でも取得した社員が数名います。

2000 年からクラウド型仮想デスクトップ（VDI）を導入しているため、社内にいるのと同じ状態で、自宅でテレワークが出来ます。妻の産休の時には自宅でテレワークする社員が増えています。このような当社の取り組み等が高く評価され、高知市の男女共同参画推進企業表彰も受賞しています。

質問 1.15 技術資格

入社するために必要な資格があれば教えてください。また、建設コンサルタントの仕事をする上ではどのような資格が必要でしょうか。

建設コンサルタントの仕事をする上で必要な資格に対しては、資格取得を奨励するため、第 1 章 5. 給与 に示したような資格手当、合格祝金を支給しています。

技術資格には実務経験がなければ受験出来ない資格が多いですが、測量士補、測量士、技術士第一次試験は実務経験がなくても受験できます。測量士と技術士第一次試験は難易度の高い試験ですが、高知工業高等学校では測量士、新潟工業高等学校では技術士第一次試験に毎年数名が合格しています。当社に入社するのに必要な資格はありませんが、学生時代に取れる資格は取っておくことをお勧めします。

建設コンサルタントの設計業務において責任ある立場で仕事をするには、技術士資格が必須です。技術士になるには技術士第二次試験に合格する必要があるのですが、その受験資格は、技術士第一次試験に合格して 4 年間の実務経験がなければ与えられません。

高知大理工学部卒業して 2022 年に入社した筒井航暉君は、大学 3 年生のときに技術士第一次試験に合格しています。彼には 26 歳の最年少で技術士になるチャンスがあります。

なお、学校が JABEE 認定校であれば、認定課程を修了しておくで技術士第一次試験を受験せずに技術士補の資格が得られるというメリットがあり、技術士第二次試験を受験するのに有利です。

設計業務の責任者(=管理技術者)になれる資格として、技術士以外に RCCM という建設コンサルタント協会認定の資格があります。RCCM 試験を受験するには、高卒で 10 年、大卒で 7 年の実務経験が必要です。

測量業務の責任者として仕事をするには、測量士の資格が必要です。測量士は、測量専門学校、高等工業専門学校、短期大学、大学において測量に関する科目を修め、測量に関して所定の実務経験を有すれば、受験しなくても測量士として認定されます。

就職する前に是非取っていただきたい資格としては、自動車普通運転免許（AT 可）があります。

参考のために、当社の主な技術資格と取得者数をお示しすると、次の表となります。

	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	計
技術士	0	2	3	4	5	5	19
RCCM	0	6	8	7	6	0	27
測量士	4	7	9	8	7	0	35
1 級土木施工	0	6	12	11	5	0	34
2 級土木施工	2	5	5	2	3	0	17

1.16 学生時代に身に付ける能力

貴社への入社を希望しています。学生時代に身に付けておくべきことがあれば教えてください。

高専、大学、大学院に限らず、学生時代に下記の能力を磨いて下さい。

- ① 技術文書を正しく書ける能力を身につけてください。そのためには、論文を積極的に書いて、先生の添削指導を受けるのが効果的です。会社に入れば報告書を書いたり、技術提案書を書いたりしなければなりません。そこで必要なのは文章力です。技術士試験に合格できるかどうか文書力が大きな決め手になります。
- ② 自分の考えを簡潔に相手に伝えるプレゼン力を身につけて下さい。研究発表を通じて訓練するのがよいでしょう。
- ③ Word や Excel を使いこなせること。学生時代から、日常的に使うことをお勧めします。
- ④ 技術士補の資格。技術士第一次試験に合格し、この資格を取得していれば、会社に入り 4 年間の実務経験ができた時点で技術士第二次試験を受験できます。とにかく早い時期に技術士になることを目標にしてください。

質問 1.17 求める人材

新卒の採用において、貴社はどのような人材を求めていますか。

当社の社訓は、「情熱、謙虚、誠実」です。これは社員としての行動基準です。この行動基準に適合することが、当社の社員としての条件です。

以上のことから、新卒採用においては、学業成績よりも下記の点を重視しています。

- ① 情熱と意欲があり、少々のことではへこたれない人。
- ② 常に目線を高いところに置き、自分の未熟さを認識し努力を惜しまない人。
- ③ 目先の損得を考えず、真心をもって行動できる人。嘘をつかず約束を守れる人。
- ④ 心身ともに健康で、性格が明るく、友達が多い人。他人に好かれる人。
- ⑤ 物事に対して好奇心を持って前向きに取り組むことができる人。

建設コンサルタントですから、誰にも負けない技術者を目指すことは大切ですが、当社の経営哲学は「技術者である前に、人格の向上を計るべし」(直木倫太郎)です。

2. 先輩社員による回答

〔回答者紹介〕

学生の皆さんからお寄せいただいた質問に対して、当社の20代、30代、40代、50代の6名の社員に答えてもらいました。参考にして下さい。なお、役職および内容は2016年(平成28年)当時のものです。



設計部橋梁構造課
片山 直道
愛媛大学工学部環境建設工学科
平成27年卒・入社



設計部橋梁構造課 係長
兵頭 学
早稲田大学理工学部建築学科
平成21年卒・入社



設計部道路交通課 課長
濱田 拓也
高知高専土木工学科
平成6年卒・入社



取締役兼技術開発部 部長
楠本 雅博
徳島大学大学院電子工学科
昭和62年修了、平成15年入社



設計部河川砂防課
生田 万祐子
高知高専電気工学科
平成21年卒、平成24年入社



設計部河川砂防課 主任
富永 敏絵
高知大学人文学部経済学科
平成5年卒・入社

質問 2.1 仕事の内容

こういった業務をされていますか。具体的に仕事の内容を教えてください。

【片山 直道 20代】

私は橋梁点検・補修設計を主に行っています。具体的には、橋に近づき目視・打音等により点検を行います。点検によって発見した損傷に対して、利用者が安心・安全に利用できるよう補修設計を行います。

【兵頭 学 30代】

橋梁設計と道路構造物の設計を担当しています。どんな構造が適しているかを比較検討したり、安全な構造になるために設計計算をしたり、工事をするための詳細図面を描いたりします。最近では、すでに完成している橋の点検や補修、耐震補強をする仕事が増えています。

【濱田 拓也 40代】

道路の設計をしています。ある道路のルートを決める業務をしたり、施工に必要な設計図の作成をしたりしています。

【 楠本 雅博 50 代 】

以前は橋梁点検や補修・補強設計に携わっていました。点検現場での経験、補修・補強設計における問題点や課題をよく理解していますので、これらの知識や経験を生かし、現在は維持管理に関する技術開発を行っています。

【 富永 敏絵 40 代 】

道路設計、造成設計、その他資料作成業務など様々な業務に携わっています。業務の中では、計画段階から成果品の作成までずっと関係しています。特に成果品の作成については、新しい情報を社内に広報するのも私の役目となっています。

質問 2.2 仕事の現場

どういった現場を担当することが多いですか。

【 片山 直道 20 代 】

主に高知県内の県道・市町村道にかかる橋の現場です。時には、けもの道のようなところにかかる橋などもあり、安全に気を付けながら楽しく仕事をしています。

【 兵頭 学 30 代 】

橋梁の現場に行くことが多いです。新設の場合は、何も無い山道に行くこともありますし、橋梁補修や点検では、市街地から山間部まで様々な橋を見に行きます。これまでに県内で 500 橋くらいは見に行っています。

【 濱田 拓也 40 代 】

市街地を通過する道路の設計もあれば、山岳地や農耕地を通過する道路の設計もあります。

【 楠本 雅博 50 代 】

点検や補修、補強を行うために橋梁の現場が多いです。橋梁には多種多様な形式があり、現場条件も橋梁毎に異なるため、現場での作業は必須です。

【 生田万祐子 20 代 】

業務を進める上での資料作成などを行っています。業務によっては現場や打合せにも同行しています。若い新入社員への業務作業の指導係になることも多いです。

【 富永 敏絵 40 代 】

主に高知県内で、国土交通省、高知県、各市町村が発注する道路や河川、造成計画に関する設計業務に関わっています。災害復旧に関わることも多く、私自身が現場に出向くことはありませんが、図面作成等で関わる事が多いです。

質問 2.3 一日のスケジュール

一日の業務スケジュールを教えてください。

【 片山 直道 20 代 】

月初めの月曜日に全体で朝礼をおこなっています。それ以外は担当した業務内容によって異なります。概略的には一日のスケジュールをルーティンしながら、成果品作成を行い、発注者に確認して業務を進めていきます。水曜日はノー残業デーであるため、業務進捗状況のコントロールを上司に確認しながら進めていきます。

【 兵頭 学 30 代 】

決まった業務スケジュールに沿って動くというよりは、その時々担当している業務に合わせて現場作業に出たり、打合せに行ったり、デスクワークをしたりと様々です。

【 濱田 拓也 40 代 】

決まった業務スケジュールに沿って動くというよりは、その時々担当している業務に合わせて現場作業に出たり、打合せに行ったり、デスクワークをしたりと様々です。

内業を例に挙げると以下のようなタイムスケジュールです。

8 時 30 分～ 8 時 40 分 各課でミーティング	13 時 00 分～15 時 00 分 業務
8 時 40 分～10 時 00 分 業務	15 時 00 分～15 時 05 分 ラジオ体操
10 時 00 分～10 時 15 分 ティータイム	15 時 05 分～15 時 15 分 ティータイム
10 時 15 分～12 時 00 分 業務	15 時 15 分～17 時 30 分 業務
12 時 00 分～13 時 00 分 昼休み	17 時 30 分 退社

【 楠本 雅博 50 代 】

業務毎にスケジュール（工程）があるため、固定されたスケジュールはありません。業務の処理状況や工期（納期）、発注者からの要望などにより臨機応変にスケジュールを組み替えています。このため毎週工程会議を行い、スケジュールを調整しています。

質問 2.4 入社した理由

今の会社を志望した理由は何だったのか教えてください。

【 片山 直道 20 代 】

私は、四国内の建設コンサルタントを対象に就職活動をしていました。いくつかの企業を訪問し、面接を受けました。決め手となったのは、会社の雰囲気と福利厚生（給料含む）です。

直接会社を訪問することで、会社の雰囲気を自ら感じ取ることができました。ぜひ就職活動を始める前に会社訪問してください。

【 兵頭 学 30 代 】

昔から美術や数学、物理が好きだったので技術的なものづくりの仕事をしたいと思って会社を選びました。

【 濱田 拓也 40 代 】

高知で就職したかったことと、高知高専の夏期実習で第一コンサルタンツに来て、先輩に良くしてもらったことが理由です。

【 楠本 雅博 50 代 】

他の会社ではできない実験や技術開発がやりたかったからです。

【 富永 敏絵 40 代 】

学生時代の学部とは分野違いの業種でしたが、地図に残る仕事、人のためになる仕事といことで、やりがいを感じ志望しました。

質問 2.5 就活

ご自身の就職活動の経験談を聞かせてください。

【 片山 直道 20 代 】

できる限りの会社を訪問しました。業務中の会社を訪問することで、その企業の本質を見ることができます。その中でも弊社を含め中小企業は親切に対応してくれ、とても好感を持ってました。

【 濱田 拓也 40 代 】

バブル経済が崩壊してすぐの時期に就職活動をしました。建設業はまだバブル崩壊の影響を受けてなくて、どこの会社も人手不足で求人がすごかったのを覚えています。

【 楠本 雅博 50 代 】

当時は売り手市場でした。就職したい企業に就職できたので特筆すべき経験談はありません。

【 富永 敏絵 40 代 】

私は県外で就職活動を行っていましたが決まらず、卒業間近になってこの会社を訪問することになりました。文系出身の私にとっては分野違いの職種でしたが内定をもらい、挑戦してみようという思いだけで入社しました。

質問 2.6 入社前の準備

入社するまでに身に付けておくべき知識や能力は何ですか。

【 片山 直道 20 代 】

是非、『日経コンストラクション』などの土木雑誌に目を通してみてください。現在の土木の技術はどの程度進んでいるのか、この技術はどんなところがいいのか、それらを知っていれば業務を始める際にとても役に立ちます。

雑誌を見てわからないことがあれば積極的に調べるようにしてください。調べる癖をつけることは、学生でも社会人でもとても大切です。

仕事を始めてわかったことですが、大学で得た土木の知識は、必要条件ではあるが十分条件ではないということです。必要な知識・能力は業務を行いながら身につけるのが効率的だと思います。

もしも大学時代に余裕があれば、様々な資格にチャレンジしてみてください。資格試験を受けることで学校では習わない土木の知識を得られます。

また、資格試験の勉強をする癖をつけておくと、就職後に技術士等の受験勉強を抵抗なくでき、役に立つと思います。

【 兵頭 学 30代 】

私は大学で建築を専門としていましたので、土木の知識は無いに等しい状態でした。それでも仕事をスムーズに覚えることができたのは、ある程度基礎的な力学や数学の知識があったからだと思います。高校で習う程度の基本的な物理、数学が理解できていれば大抵のことは理解できます。

何が仕事に生きるかは人それぞれで難しいです。例えば私の場合は、大学時代にプログラミングを半ば趣味的に勉強していましたが、その知識や経験が役に立つ場面も結構あります。

本を読むのが好きだったことも役だっていると思います。どんなことでも自分の興味のあることを深めるようにすると良いのかなと思います。

【 濱田 拓也 40代 】

一般常識と数学の基礎知識は身につけておいてほしいです。勉強ばかりでは疲れるので遊ぶことも大事です。

【 楠本 雅博 50代 】

自分が得意とする事を見つけ、磨いておく事だと思います。これは学校の教科でなく、趣味でもいいと思います。他の人より優れたものを一つ持つことは自信に繋がります。

見聞を広げておくことも重要です。就職すると行動範囲が限られます。思い切って遠くまで旅行する、他業種の人と交流し見聞を広げましょう。

【 生田万祐子 20代 】

基本的なパソコンの操作やソフトの使い方はもちろん、公共事業に関わる構造物に興味を持って観察することをおすすめします。また、普段から文章力と会話力を鍛えることが重要です。

【 富永 敏絵 40代 】

知識や能力はすぐに身につくものではないですから継続して勉強していくことを忘れないでください。

社会人として常識と思われることは身につけておくとういと思います。人との接し方など、学生時代とはまったく違います。

質問 2.7 職場の雰囲気

貴社の職場の雰囲気（人数や場所など）について教えてください。仕事がしやすい雰囲気・体制ですか。

【 片山 直道 20 代 】

一つの課の人数は10人程度です。上下のつながりがとても密になっています。そのため、若手と上司が技術について討論を行う姿がよく見られます。討論を行うことによって若手社員は仕事を理解しやすく、とてもいい環境で仕事ができていると感じます。

弊社は中堅世代が少ないため私たち若手がより一層努力し、今後入社される人とのつなぎ役になれるかが課題だと感じています。

【 兵頭 学 30 代 】

新社屋になって、新しい快適な作業空間で仕事できています。課の人数は10人前後で、上司は同じ目線で話をしてくれる方が多いので、相談しやすい環境だと思います。

【 濱田 拓也 40 代 】

新社屋になり以前より職場の雰囲気が非常によくなりました。人数、体制についてはもう少し人が増えてもいいと思っています。

【 楠本 雅博 50 代 】

職場の雰囲気は明るいです。体制としては、当社が発展途上であり人員が不足気味というのが実状です。

【 富永 敏絵 40 代 】

職場の雰囲気はとても良いです。相談したいこと、教えてほしいことはいつでも聞きやすい雰囲気です。周りの方も親切に対応してくれます。ワークスペースも確保され、各自パソコンを所有しています。南側が全て窓となっており、照明もLEDを採用しているので明るく快適です。技術系の部署はワンフロアーにあり、一体となって業務にあたっているため、連絡も密に取れる環境です。

各課は10名から20名程度で構成されており、毎週工程会を行っているので、業務に関すること以外でもその場で意見ができます。

質問 2.8 他人との接し方

現場で一緒に作業をする作業員や他企業の方と接するときに意識していることがあれば教えてください。

【 片山 直道 20 代 】

社会インフラ整備の仕事は関連企業が多く、コミュニケーションが非常に大事な要素となっています。社訓にある「誠実、謙虚」な接し方を心がけています。

【 兵頭 学 30 代 】

人として失礼の無いようにすること。相互に成長しあえるような関係を築くこと。

【 濱田 拓也 40 代 】

特に意識していることはありません。悪い印象を与えないようにしています。

【 楠本 雅博 50 代 】

現場ではコミュニケーションが第一です。安全管理にも繋がります。現場作業を効率的に行うためには、作業員の体調や考え方を尊重し、可能な範囲で作業員の意見を聞いてあげることも必要だと思います。

質問 2.9 個人的目標

仕事に関係して今、貴方が考えている個人的な目標を教えてください。

【 片山 直道 20 代 】

35 歳までに技術士を取得することです。

【 兵頭 学 30 代 】

技術士の資格取得が今の目標です。

【 濱田 拓也 40 代 】

国土交通省の業務、局長表彰あるいは事務所長表彰をもらうことです。

【 楠本 雅博 50 代 】

「これは、私がやったものだ」と自慢できるものを年 1 個ずつ作ることです。

【 生田万祐子 20 代 】

40 歳までに技術士を取得することです。

【 富永 敏絵 40 代 】

管理技術者として業務を遂行することです。

質問 2.10 仕事からの新発見

入社して、仕事を通じて分かった新たな発見があれば教えてください。

【 片山 直道 20 代 】

日々何気なく見ている公共事業ですが、一つの事業を完成させるのにこんなにも多くの人が携わっていると初めて知りました。

【 兵頭 学 30 代 】

当り前のことですが、たくさんの人と出会う機会があれば、色々な人を知ることができるということです。

【 濱田 拓也 40 代 】

失敗したことが経験となって、次に生きることです。失敗することで知恵が付くということ。

【 楠本 雅博 50 代 】

入社するまでコンサルタントの仕事の内容をよく知らなかったです。新しい道路の計画や設計は、役所の人がやっているものだと思っていました。ところが、これらの計画や設計は役所に代わってコンサルタントがやっていることを知りました。

【 生田万祐子 20 代 】

私は学校で電気工学を学んでおり、土木工学は知りませんでした。しかし、思ったよりも仕事はしやすいと感じました。もちろん専門用語等でつまづいたりしますが、自然と覚えていきます。土木の専門を出ていなくても、それほど恐れる必要はありません。

【 富永 敏絵 40 代 】

学校で学ぶことは社会では役に立たないと思っていましたが、基礎知識はとても重要でした。そして、技術職というのは黙々と仕事をするものかと思っていましたが、対話がとても重要だと知りました。

質問 2.11 大事にしていること

仕事をする上で、大事にしていることは何ですか。

【 片山 直道 20 代 】

連絡を密にとることを心掛けています。一つ連絡漏れが生じると、重大なミスにつながります。現場作業においては、事故につながり、命が危険にさらされる事態になりかねません。小さい時から言われ続けている「ハウ・レン・ソウ」。この言葉の大切さを社会人になって本当の意味で理解できた気がします。

【 兵頭 学 30 代 】

技術者として、ものごとの本質を理解して説明できるようにしたいと考えています。

【 濱田 拓也 40 代 】

チームワークと顧客とのコミュニケーションです。

【 楠本 雅博 50 代 】

やるべき事は多いので、常に優先順位を意識することです。優先順位が高いのは、他の人と連携してやる作業、優先順位が低いのは自分一人のできる作業です。

【 生田万祐子 20 代 】

工期を守ることはもちろんですが、発注者が要求していることを正確に理解し、仕事をするように心がけています。また公共事業に関わる仕事ですので、ミスは大きな命取りになります。心身ともにできるだけ「余裕」を持つことを大切にしています。

【 富永 敏絵 40 代 】

人との対話です。コミュニケーション次第で仕事の進捗がかなり違いますし、印象も変わります。

質問 2.12 苦難の克服

仕事をしてきた中で、大変だったが自分のためになったと思うことがあれば、を教えてください。

【 片山 直道 20 代 】

現在私は 2 年目で日々仕事を覚えるのに必死です。その中でためになっていると感じるのは、若手でも業務を任されて鍛えられることです。弊社では、若手であろうと重要な業務に携わる機会が与えられます。このため責任感が芽生え、より一層仕事に精を出すことができています。

【 兵頭 学 30 代 】

大変でない仕事はないと思っています。特に最初の頃は、まず覚えることが大事だと思って仕事をしていました。

【 濱田 拓也 40 代 】

2011 年(平成 23 年)に国土交通省から受注した業務の管理技術者をしたときが 1 番大変でした。発注者の担当職員の要求になかなか応えることができず、業務期間中ほとんど怒られていた気がします。

チーム編成、業務の進め方、資料作り等すべてにおいて、発注者に満足して頂けるものではなかったと反省しています。

しかし、その業務に係わり、その担当職員に出会ったことで、その後の業務の進め方に対する考え方が変わり、うまく業務を進めることができるようになりました。大変な思いをしたおかげで業務を進めていくコツを掴むことができたと思っています。

【 楠本 雅博 50 代 】

技術士の資格取得です。仕事が終わって何時に帰宅しても、必ず 2 時間の勉強をやっていました。いまでは考えられませんが、充実した有意義な時間を過ごせたと思っています。

【 生田万祐子 20 代 】

自分が主体となって業務を進めることは、やはり大変です。しかしその分やりがいも大きいものとなります。

経験不足や知識不足から、うまくいかないことも多く出てきますが、自分一人で業務をこなすということではありません。自分が主体となるためには、自分がその業務に対して一番の理解者であろうとする姿勢で向き合うことです。そのためには沢山の時間と労力がかかり、やはりつらいです。しかし、仕事をやり遂げた時には大きな達成感を得られます。またその経験は、次の仕事に対する不安を自信に変える事にも繋がっていきます。

【 富永 敏絵 40 代 】

まったく知識がないままこの仕事に就いて分からないことばかりでした。しかし、周りの方に教えてもらいながら何とかやってこられました。今でも覚えることは山のようにあります。

質問 2.13 つらい仕事

精神的あるいは肉体的に一番つらいと感じた経験について教えてください。それをどのように乗り越えたのですか。乗り越えた今、当時のことをどう思いますか。

【 片山 直道 20 代 】

つらいと感じることは、自分が想像しているよりも仕事が進まないことです。知識の乏しさ、段取りの悪さなどを日々痛感させられています。

大学時代授業で学んだことを忘れてしまっており、あの時にしっかりやっていたらよかったと日々反省しています。反省しながらも、先輩に聞いたり調べたりと勉強が毎日ですが、前向きに先輩に負けないよう頑張っています。

【 兵頭 学 30 代 】

私は構造物設計を担当しています。構造物の設計はミスが人命に直結する仕事です。そういう意味でつらいというのとは少し違いますが、常に緊張を強いられる部分はあります。

納期が決まっている中で、未解決の問題や作業が山積みになっている時は精神的にも肉体的にもつらいです。そういう時は、ひたすら頑張るしかないのですが、同僚もいますので協力しながら何とか乗り越えてきました。そうした厳しい環境が人を育てるのも事実だと思います。難題を乗り越える中で知識や経験が身についているという実感はあります。

【 濱田 拓也 40 代 】

私の部署が担当する業務は道路です。道路は、検討しなければならない内容が非常に多く、年度末の成果品のとりまとめの際には時間に追われる毎日が続きます。もう少し上手く仕事を進めることができれば良いのですが、お客さんの要求事項が年々増えているためなかなか上手くいきません。

私が 1 番つらかったのは、技術士第二次試験の筆記試験に受かった時です。口頭試験の前に提出する必要がある論文の作成、口頭試験のための勉強をしつつ、当時は私と部下の 2 人しかいない部署で、複数の業務を進める必要がありました。焦りで試験対策、業務の両方に集中できなくなり、部下にかなり迷惑をかけた記憶があります。しかし、部下は何も文句を言わずサポートし続けてくれました。そのおかげで試験に合格することができましたし、業務を無事すべて完了することができました。

【 楠本 雅博 50 代 】

うまく仕事が進められなかったときがあります。発注者に迷惑をかけられないので、工期に間に合わせるため徹夜で仕事をした時です。徹夜はすべきではありませんが、道路を利用する人のために事業を遅らせることはできませんでした。今となれば、笑い話です。

つらいと思ったのは、仕事と家庭の両立です。今後の仕事の工程を考えると残業した方がいいと思って、家庭の事を考えると、定時に退社し家族団らんの時を過ごすことも重要です。時と場合に応じて、どちらを優先すべきか選択することが必要だと思います。

【 生田万祐子 20 代 】

最終成果の作成が工期ギリギリまでかかった時がつらかったです。

より良い成果品を作るために直前まで相手と協議を重ねた結果ですが、時間的にとても

厳しく残業が集中的に多くなってしまう、肉体的に疲労が溜まっていたところに思わぬトラブルが重なったことで精神的にとてつらかったことがありました。

幸い、先輩社員のフォローがありなんとか完成させることができました。乗り越えたというのとは少し違いますが、実際に出来上がった成果品がいい評価をいただけると、頑張りが報われた気がします。

そういったことに落ち込むことはありますが、無理に気持ちを切り替えようとせず、落ち込んだ時は思いっきり落ち込むのもアリだと思っています。

【 富永 敏絵 40代 】

予定通りに仕事が進まないことが多々あります。理由は自分の段取りが悪かったことや発注者からの急な要請等様々ですが、自分の予定を立てることが難しいことがあります。

繁忙期は特に、休日にも予定が入れられないこともありました。納期に追われ、残業時間がかさむとさすがに精神的にも肉体的にもつらいです。官公庁や地方自治体の仕事は、納期が年度末に集中しています。このため、コンサルタントにとって年度末はどうしてもつらい時期になります。今でも乗り越えられたとは思っていません。

繁忙期を過ぎ、一息つける時にはまた頑張ろうと思えます。また、自分の関わった業務の完成した実物を見ると達成感を感じます。

質問 2.14 仕事を辞めたいと思ったとき

仕事を辞めたいと思うとき（思ったとき）はありますか。それはどんな時ですか。どのように乗り越える（越えた）のですか。

【 片山 直道 20代 】

私は入社 2 年目ですが、仕事を辞めたいと思ったことはありません。入社する前に恩師から「3 年間死ぬ気でやってみて将来はその後で考えろ」とアドバイスをもらいました。

もしも仕事を辞めたいと思うことがあれば、ここまでやったと自信を持って言えるように精進していきたいと思っています。

【 兵頭 学 30代 】

深夜まで残業が続いた時には、この仕事を長く続けていけるだろうかと不安になったことがあります。辞めたいと思うような局面を乗り越えるというよりは、いかにそうした局面にならないようにするかが重要だと思います。しんどい時は同僚を頼って下さい。

【 濱田 拓也 40代 】

若いとき、忙しすぎてもう辞めたいと思ったことはあります。しかし、業務の完了検査が終わったときの達成感は格別で、辞めたい気持ちよりも達成感の方が勝っています。

【 楠本 雅博 50代 】

仕事が思うように処理できず、自分はコンサルタントに向いていないと思った時です。しかし、自分の得意な分野で成果を出し、発注者や社内で評価される時もあり、乗り越えることができました。

【 生田万祐子 20 代 】

やはりミスをした時が一番堪えます。これに関しては、反省を重ねるしかありません。そのために日々経験・知識を積むことです。また、仕事は一人で抱え込まないことです。抱え込んでしまうと、自分では気がつかないミスに気づくことができません。

【 富永 敏絵 40 代 】

繁忙期は時間的に追われ、肉体的にも精神的にも追い込まれ、辞めたいと思ったことは何度もあります。また、体調を崩し 1 ヶ月間休職した時は、復職できるか分からない状況でした。周りの人に迷惑をかけることになるので辞めようと思いました。

自分がステップアップできずに悩むことも多いです。しかし、そういう時に同僚や上司に励ましてもらい、今に至っています。完璧に乗り越えることは難しいですが、できるところまで仕事を続けたいと思っています。

質問 2.15 仕事のやりがい

仕事をしている中で、最もやりがいを感じることを教えてください。

【 片山 直道 20 代 】

最もやりがいを感じるのは自分が携わったものが形になった時です。私は橋梁点検・補修の仕事をしています。発注者の方と協議を重ね、橋の補修の設計を行ったものが形になったときは本当にやりがいを感じます。

【 兵頭 学 30 代 】

私たちは、発注者と協議をしながら仕事を進めていきます。その中で信頼を得ることです。信頼されると、業務外でも色々と相談を受けることがあります。技術者として大きなやりがいを感じる瞬間です。

【 濱田 拓也 40 代 】

やりがいを感じるのは、道路の概略設計をしている時です。道路の概略設計というのは、道路のルートを決める仕事です。ある地点とある地点をつなぐためにどんなルートが最適であるかを決めます。経験、知識、センスが要求されます。難しいですが、とてもやりがいがある面白い仕事です。

阿南安芸自動車道の一部となる安芸道路のルートを色々検討をして確定したときは、本当にやってよかったと思いました。

【 楠本 雅博 50 代 】

マニュアルに書かれていない仕事をする時です。自分であれこれと考え、決め、決めたことに責任を持てる仕事ができるとき、やりがいを感じます。

今まで誰もやった事がない仕事を任せられ、他社の技術者や大学の先生にいろいろと教えて貰いながら何とか問題なく完了した時には本当に喜びを感じます。

【 生田万祐子 20 代 】

自分が主体となってやっている仕事です。自分が主体で仕事を進めていくことで、自分の考えがよりリアルに仕事に反映されることになります。集中的に関わる事で、仕事の進め方や相手とのやりとりなどの仕事のノウハウも同時に覚えることになるので、確実に自身のレベルアップになります。

【 富永 敏絵 40 代 】

地道に作業してきた業務が無事完了し、供用にも間に合ったことです。当たり前のことをしただけかもしれませんが、途中大変だった分、達成感が違います。

質問 2.16

第一コンサルタンツに入社してよかったと思うことはなんですか。

【 片山 直道 20 代 】

人とつながることができたことです。弊社は若手の社員を多く採用しているため同世代が多く、日々切磋琢磨しています。私事ですが、社内結婚をしました。仕事の仲間・生涯のパートナーと様々な出会いがあったことが入社して一番良かったと感じています。

【 兵頭 学 30 代 】

専門性の高い分野だけでなく、様々な分野の業務を担当してこれたことです。技術者としては、高い専門性が求められますが、それだけでない知識は今後生きていくのではないかと考えています。

【 濱田 拓也 40 代 】

規模の大きい道路設計ができることです。

【 楠本 雅博 50 代 】

高知の県民性かも知れませんが、「各自の意見や自己が尊重されている」という事だと思っています。端的によく言うと「各自が自由」、悪く言うと「協調性が低い」。

【 生田万祐子 20 代 】

ほとんどが行政を相手にした仕事であり、今まで経験してこなかった目線で仕事を見られることでしょうか。

【 富永 敏絵 40 代 】

一緒に働く人にとっても恵まれていると思います。何をするにも人との繋がりは重要です。

第一コンサルタンツはこんな会社です

令和 4 年 8 月 10 日 発行

発行・編集	平成 28 年版	平成 28 年 10 月 13 日
	平成 29 年版	平成 29 年 10 月 24 日
	平成 30 年版	平成 30 年 7 月 4 日
	令和 元 年版	令和元年 10 月 2 日
	令和 2 年版	令和 2 年 6 月 1 日
	令和 3 年版	令和 3 年 5 月 12 日
	令和 4 年版	令和 4 年 6 月 27 日
	令和 4 年改定版	令和 4 年 8 月 10 日
株式会社 第一コンサルタンツ		
〒781-5105 高知市介良甲 828 番地 1		
TEL 088-821-7770 FAX 088-821-7771		

時代を設計し、未来を提案する



総合建設コンサルタント

株式
会社

第一コンサルタンツ